

講義・演習概要（シラバス）

第2部課程第171期（平成26年10月7日～平成26年12月18日）

課 目 名	9-2 首長講演
時 限 数	1 時限
担 当 講 師	栗山町長 椿原 紀昭 <プロフィール> 昭和44年3月 拓殖大学政経学部経済学科卒業 昭和44年4月 栗山町役場奉職 平成3年4月 商工課長 平成8年4月 企画課長 平成11年4月 農業委員会事務局長 平成14年4月 教育委員会社会教育課長 平成16年4月 教育委員会教育次長 平成17年4月 教育委員会教育部長 平成18年1月 栗山町役場退職 平成18年4月 栗山町長就任 平成22年4月 栗山町長就任（2期目） 平成26年4月 栗山町長就任（3期目）
ね ら い	栗山町が推進している協働のまちづくりや就農支援などの定住・雇用対策の取り組みの苦労や成果、または、自身の経験をもとに、これからの地方公務員に求める資質や自治体の行政経営の手法等について、学ぶことをねらいとする。
講 義 概 要	「思いやりの心がかよう、元気のでるまちづくりを！」を政策目標に掲げ、平成18年4月に就任以来、役場の組織改革を皮切りに、行財政改革プランの着実な推進、また、義務教育終了までの医療費無料化をはじめとする次代を担う子どもたちへの投資、2期目においては、ふるさと栗山の自然環境を活かした取り組みである廃校活用や環境プログラムの開発、さらには、「栗山町自治基本条例」を制定し情報の共有と町民が主体となる「真の協働のまちづくり」を展開してまいりました。 平成26年4月の3期目就任に当たっては、1期目の「基礎づくりの期間」、2期目の「展開の期間」、そして、これからの3期目4年間を「結実の期間」と位置付け、「ふるさととは栗山です。」と誰もが誇れるまちづくりの実現を見据え「5つのステージ」を旗印に、子育て・教育環境の充実や若者定住対策など「4つの重点プロジェクト」を掲げ、地域主権時代に対応した町民参加と情報共有による自律した持続可能なまちづくりを推進しております。 本町の様々な取り組み事例をもとに、今後の自治体運営のあり方について参考としていただければと思います。
受講上の注意	特になし
使 用 教 材	講義レジメ（パワーポイントを印刷したもの）、その他参考資料配布予定
効 果 測 定	なし
そ の 他 (他の課目との関連)	なし